オーディオ実験室収載

映像付き音源再生の高音質化(11)
—LAN ケーブルの交換(1)—

１．始めに

前報(9)までに光フレッツと無線ルーターの高速化を図りましたが、残る課題としてオーディオ仕様のLANケーブルの採用があります。既に無線ルーターの前にはAIM電子のオーディオ仕様のLANケーブルを使用していますが、さらに良いものがないかどうか調べていたところ、良さそうなものが発売されましたので試してみることにしました。

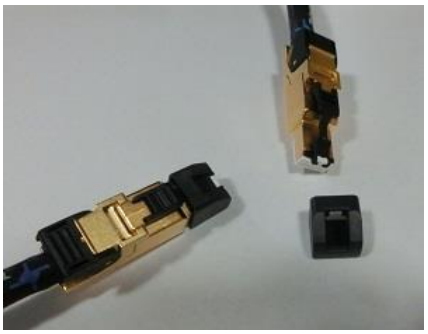
２．LAN ケーブルの交換

着目したLANケーブルはドイツの情報通信関係のメーカーのテレガートナー社が初めてオーディオグレードLANケーブルを手掛けたというMFP8 GOLDです。ケーブルの構成は国際宇宙ステーションにも採用された堅固なコネクターとカテゴリー7のケーブルを組み合わせたもので、既に新着雑誌紹介のページでも紹介しました。

http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2014/08/3efd3daf23b921428b6e9b2e0d3c6cb4.pdf

また、販売開始の情報も出ています。

http://www.telegaertner.co.jp/information/important/lanmfp8_gold_1.html
http://sc1212.blog21.fc2.com/



到着したMFP8 GOLDは豪華な化粧箱に入っており、シリアルNo.付きで1本ずつ測定結果のシートがついています。差し込みのコネクター部はカバーが付属しており、随分と複雑な構造であることが見てとれます。

このMFP8 GOLDを終端装置CTUから無線ルーターの間のAIM電子のLANケーブルと交換します。交換したAIM電子のLANケーブルは元のNASと無線ルーターの接続に戻しました。なお、もう一本のLANケーブルが光モデムと終端装置CTUの間にありますが、様子を見て検討することといたします。

３．LANケーブル交換後のDigital Concert Hallの再生結果

終端装置CTUから無線ルーターの間のLANケーブルをAIM電子のLANケーブルからテレガートナー社のMFP8 GOLDに交換してDigital Concert Hallの再生を行ってみましたところ、ホールの間接音がよりリアルになり、楽器の分離も良くなりました。しかしながら、光フレッツと無線ルーターの高速化の時の音質変化に比べると、LANケーブルの交換の効果はそれほどでもなく、一定の改善レベルという程度です。

４．まとめ

終端装置CTUから無線ルーターの間のLANケーブルをテレガートナー社のMFP8 GOLDに交換したことの効果を認めました。

以上